

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月10日

上場取引所 JQ

上場会社名 ハイビック株式会社

コード番号 7845 URL <http://www.hivic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川口 充

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 木村 敏行

TEL 0285-25-4785

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	11,485	△15.6	498	58.8	540	39.5	344	—
21年3月期第2四半期	13,602	—	313	—	387	—	30	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	10.42	—
21年3月期第2四半期	0.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	15,802	5,475	34.6	165.51
21年3月期	14,981	5,263	35.1	159.11

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 5,475百万円 21年3月期 5,263百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△3.7	810	29.9	843	16.5	485	—	14.66

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等 4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 34,161,000株 21年3月期 34,161,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 1,080,101株 21年3月期 1,080,101株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 33,080,899株 21年3月期第2四半期 33,595,516株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間の住宅業界は、雇用・所得環境の悪化等を要因とする住宅投資意欲の減少が続き、当第2四半期の新設住宅着工戸数が18万6千戸（前年同期比35.8%減）となり、改正建築基準法施行後の水準を下回るまで落ち込みました。このうち当社グループが関連する木造住宅分野においても、主流の在来木造住宅の着工戸数が8万2千戸（前年同期比21.0%減）と予断を許さない状況が続いております。

このような状況のなか、グループでの集中購買等による仕入コスト低減に努めるとともに販売手法全般の見直しを実施し、売上高確保、利益率向上に努めました。

また、平成21年5月のハイビックテクノロジー㈱厚木工場（神奈川県厚木市）の新設に加え、那須工場（栃木県大田原市）において品質及び生産性、並びに安全性向上を目的とした最新の機械設備への更新、また、直需木材市場の地域戦略上、空白エリアでありました宮城県仙台エリアに営業拠点用地を取得する等、将来を見据えた設備投資を実施いたしました。

その結果、当第2四半期連結会計期間の業績は、売上高につきましては、前期実施の不採算事業拠点の廃止による減少もあり、56億99百万円（前年同四半期比18.2%減）となりましたが、営業利益2億16百万円（同32.0%増）、経常利益2億42百万円（同38.8%増）、四半期純利益1億58百万円（前年同四半期は四半期純損失48百万円）と増益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、主に受取手形及び売掛金の増加、土地取得並びに機械設備の更新等の設備投資に伴う有形固定資産の増加等により、158億2百万円（前期末比8億21百万円増）となりました。

負債は、主に借入金の増加等により、103億27百万円（前期末比6億9百万円増）となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により、54億75百万円（前期末比2億11百万円増）となり、その結果、自己資本比率は34.6%（前期末比0.5ポイント減）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、21億99百万円（前年同四半期比1億29百万円の減）となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、主に売上債権の増加1億92百万円、仕入債務の増加2億18百万円等を反映した結果、2億1百万円の収入（前年同四半期は5億15百万円の収入）となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、主に有形固定資産の取得による支出2億71百万円、投資有価証券の売却による収入50百万円等を反映した結果、2億11百万円の支出（前年同四半期は40百万円の支出）となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、主に長期借入による収入5億円、長期借入金の返済による支出1億46百万円等を反映した結果、3億27百万円の収入（前年同四半期は1億43百万円の支出）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、利益面において順調に推移しておりますが、今後の経済及び業績動向が依然として不透明であること、また、次期を見据えての事業投資等を考慮し、平成22年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で平成21年5月15日に公表した業績予想から変更はございません。

なお、今後の業績推移に応じて修正の必要性が生じた場合には、速やかに公表いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

②たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ、正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産に関しては、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,199,954	2,518,650
受取手形及び売掛金	3,250,576	2,646,664
商品及び製品	725,451	701,969
仕掛品	25,183	24,672
原材料及び貯蔵品	428,600	379,197
その他	571,089	313,977
貸倒引当金	△71,529	△74,648
流動資産合計	7,129,326	6,510,484
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,804,370	1,851,088
土地	5,235,050	5,072,097
その他(純額)	808,537	597,051
有形固定資産合計	7,847,958	7,520,237
無形固定資産		
その他	139,349	158,850
無形固定資産合計	139,349	158,850
投資その他の資産	686,326	792,028
固定資産合計	8,673,633	8,471,115
資産合計	15,802,960	14,981,600
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,233,762	6,194,930
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	530,388	427,444
未払法人税等	238,700	137,037
引当金	72,741	55,639
その他	506,904	519,967
流動負債合計	7,612,497	7,365,019
固定負債		
社債	50,000	65,000
長期借入金	1,325,698	1,193,856
退職給付引当金	118,838	114,446
役員退職慰労引当金	435,444	449,543
環境対策引当金	21,276	—
その他	764,128	530,166
固定負債合計	2,715,386	2,353,012
負債合計	10,327,884	9,718,032

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	551,385	551,385
資本剰余金	458,616	458,616
利益剰余金	4,636,515	4,457,079
自己株式	△166,860	△166,860
株主資本合計	5,479,656	5,300,220
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4,580	△36,651
評価・換算差額等合計	△4,580	△36,651
純資産合計	5,475,076	5,263,568
負債純資産合計	15,802,960	14,981,600

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	13,602,936	11,485,083
売上原価	11,962,515	9,887,883
売上総利益	1,640,421	1,597,200
販売費及び一般管理費	1,326,551	1,098,852
営業利益	313,869	498,347
営業外収益		
受取利息	830	240
受取配当金	7,241	3,266
仕入割引	17,702	14,850
保険解約返戻金	29,431	—
その他	27,696	40,775
営業外収益合計	82,902	59,133
営業外費用		
支払利息	9,229	9,749
その他	133	7,422
営業外費用合計	9,363	17,172
経常利益	387,408	540,308
特別利益		
投資有価証券売却益	9,924	11,605
完成工事補償引当金戻入額	1,190	360
貸倒引当金戻入額	913	12,193
その他	469	114
特別利益合計	12,496	24,273
特別損失		
投資有価証券評価損	140,100	—
環境対策引当金繰入額	—	21,276
その他	53,678	2,990
特別損失合計	193,779	24,266
税金等調整前四半期純利益	206,125	540,315
法人税、住民税及び事業税	184,155	236,546
法人税等調整額	△917	△41,072
法人税等合計	183,237	195,474
少数株主損失(△)	△7,885	—
四半期純利益	30,772	344,840

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	6,969,774	5,699,363
売上原価	6,150,522	4,939,029
売上総利益	819,252	760,333
販売費及び一般管理費	654,904	543,365
営業利益	164,348	216,968
営業外収益		
受取利息	370	40
受取配当金	232	91
仕入割引	10,185	7,233
その他	4,236	27,440
営業外収益合計	15,024	34,805
営業外費用		
支払利息	4,879	4,995
その他	30	4,600
営業外費用合計	4,910	9,596
経常利益	174,462	242,177
特別利益		
投資有価証券売却益	2,316	9,109
完成工事補償引当金戻入額	250	360
貸倒引当金戻入額	4,465	1,059
その他	233	—
特別利益合計	7,265	10,528
特別損失		
投資有価証券評価損	107,929	—
その他	48,192	3,156
特別損失合計	156,122	3,156
税金等調整前四半期純利益	25,605	249,549
法人税、住民税及び事業税	106,726	122,916
法人税等調整額	△20,585	△32,057
法人税等合計	86,141	90,858
少数株主損失(△)	△12,102	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△48,432	158,691

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	206,125	540,315
減価償却費	149,929	164,820
のれん償却額	9,663	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△17,560	△2,881
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,803	16,739
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△17,550	4,391
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,221	△14,098
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△1,120	110
その他の引当金の増減額 (△は減少)	—	21,276
受取利息及び受取配当金	△8,071	△3,506
支払利息	9,229	9,749
為替差損益 (△は益)	—	7,384
有形固定資産売却損益 (△は益)	282	△49
有形固定資産除却損	1,767	36
投資有価証券売却損益 (△は益)	577	△11,551
投資有価証券評価損益 (△は益)	140,100	—
関係会社整理損	34,568	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△57,726	△604,149
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△14,296	△83,678
仕入債務の増減額 (△は減少)	252,025	△27,837
その他	△1,096	△24,848
小計	704,874	△7,777
利息及び配当金の受取額	8,064	3,506
利息の支払額	△9,140	△10,111
法人税等の支払額	△189,376	△134,446
営業活動によるキャッシュ・フロー	514,422	△148,828
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△324	—
定期預金の払戻による収入	2,764	50,000
有形固定資産の取得による支出	△26,518	△418,334
有形固定資産の売却による収入	7,426	18,160
無形固定資産の取得による支出	△6,114	△2,380
投資有価証券の取得による支出	△37,442	△952
投資有価証券の売却による収入	76,686	134,588
その他	—	13,164
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,477	△205,754

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	95,000	—
短期借入金の返済による支出	△174,295	—
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△186,775	△265,214
社債の償還による支出	—	△15,000
自己株式の取得による支出	△11,043	—
配当金の支払額	△168,240	△165,404
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△11,110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△445,353	43,270
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△7,384
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	85,545	△318,696
現金及び現金同等物の期首残高	2,243,618	2,518,650
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,329,164	2,199,954

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	住宅資材製造販売事業 (千円)	住宅施工事業 (千円)	その他事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	13,048,195	530,311	24,429	13,602,936	—	13,602,936
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	303,927	16,157	—	320,085	(320,085)	—
計	13,352,123	546,468	24,429	13,923,022	(320,085)	13,602,936
営業利益	566,183	14,757	17,220	598,160	(284,291)	313,869

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	住宅資材製造販売事業 (千円)	住宅施工事業 (千円)	その他事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	11,035,297	408,660	41,125	11,485,083	—	11,485,083
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	215,588	5,340	—	220,929	(220,929)	—
計	11,250,885	414,001	41,125	11,706,012	(220,929)	11,485,083
営業利益	722,722	19,465	29,647	771,835	(273,487)	498,347

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、製品・商品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性を考慮して決定しております。

2. 各事業の主な品目(事業内容)

住宅資材製造販売事業…在来木造住宅用プレカット製品及び2×4(ツーバイフォー)住宅用プレカット製品の製造販売、建材、住宅設備機器、木材等の一般建築業者への販売等を行っております。

住宅施工事業……………プレカット製品の一般建築業者への施工販売、在来木造住宅の一般ユーザーからの請負及び増改築を行っております。

その他事業……………店舗等の不動産賃貸を行っております。

[所在地別セグメント情報]

該当事項はありません。

[海外売上高]

該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。